
魔法少女とかマジ笑える

二足歩行犬

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女とかマジ笑える

【Nコード】

N0912Z

【作者名】

二足歩行犬

【あらすじ】

リリカルな世界に転生した少年の物語。
能力は貰えなかったが、精一杯生きています。今、中学2年生の春が始まる！！

プロローグ（前書き）

どうも、二足歩行犬です。

かなりgood goodな感じですが、どうか温かい目で見てください。

感想をくれると、夕食のおかずが一品増えます。

ブローグ

4月。

まだ寒が残るが、徐々に暖かさを感じるようになる季節。
そして、始まりの季節。

入学、就職、新学期、留年（笑）。

そんな始まりのイベントが、もちろん俺にもある。

西野音耶、中学二年生になりました！！

あつ、あと転生者です。

「13年前」

「知らない天井……が、ないだと……！？」

やってくれるな、俺を嵌めるなんて。

まさか天井がないとは。

で、ここどこだ？

「ふお、起きたようじゃの」

死んだじーちゃんに良く似た声がした。

おいおいっ！やめてくれよじーちゃん！！

俺が幽霊嫌いなもの知ってんだろ！？

下半身のダムが崩壊しそうなのを我慢して、恐る恐る振り向くと、そこには良く見知った人がいた。

「あ、あんたは！？」

「ふおおおお、そうじゃ。わしはk「山本元柳斎重國！！」万象一切灰じ、って違うわ！！！！」

ノリのいい老いぼれだった。

「で？あんただれよ？」

「神じゃ」

「へー」

「……それだけかの？」

いや、これ転生つてやつだろ？

二次創作でよく見る展開だし。

だから神が出て、特に何も。

「なんじゃ、つまらんのお」

頬を膨らませてブーブー言ってくる。

うはっ、きめえ！！

「で、能力は何くれんの？転生先は？」

「転生先は『魔法少女リリカルなのは』の世界じゃ」

ああ魔王ね。

んで、能力は？

「やらん」

「what？」

「だから、能力はやらん」

なに言ってるのこいつ？

俺に桃色バスターを生身で受け止めると？

「じゃあ原作介入は？」

「しなければ良からうが」

「それじゃ転生の意味なくね？」

「そうじゃの」

え？こいつ何なの？アホなの？死ぬの？

「まったく、うるさいやつじゃのお。いいか？わしだって能力をやりたい。しかしな、能力を授けると……減るんじゃ……」

減る？なにが？寿命か？

「髪じゃ」

「よし、つるつるになるまで能力寄せ」

「嫌じゃー!!」

「アンタの髪の毛だって、もう疲れたんだ!!楽にしてやれ!!」

「毛は我と共にあり」

「お前も帰れ」

「いや、お主が帰れ」

「いやいや俺死んで、ツなんだこれ!？」

足元から黒い何かが、徐々に俺を包んでいく。

「一応、魔導師の子供になるようにしといたからの。感謝するんじやぞ」

「あつ、ちよつ、アーーーーーッ」

黒いものに全身を包まれた俺の意識は、そこでブラックアウトした。

「ふむ、やっぱり能力をやっても良かったかのお。……いや、あや

つにまでやるとわしの髪の毛がなくなるか」

「さて、あやつら3人がどのような物語を見せてくれるか楽しみじや」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0912z/>

魔法少女とかマジ笑える

2011年12月3日15時56分発行